

教育委員会学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

平成22年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	13	264	15	283	2	19	石脇 昭弘
義方小学校	21	548	22	541	1	7	廣川 健昭
啓成小学校	14	310	15	305	1	5	遠藤 博子
就将小学校	17	414	16	378	1	36	大谷 健二
車尾小学校	20	508	21	555	1	47	達磨 晋
福生東小学校	17	438	18	442	1	4	下島 久幸
福生西小学校	11	239	10	228	1	11	佐伯 啓子
福米東小学校	19	524	20	547	1	23	森尾 洋子
福米西小学校	22	529	23	536	1	7	金山 正義
加茂小学校	22	602	22	604	0	2	松本 靖史
河崎小学校	13	267	14	272	1	5	由良ひろみ
住吉小学校	29	787	29	786	0	1	西垣 滋
尚徳小学校	15	341	15	324	0	17	権代 雅志
五千石小学校	8	164	8	158	0	6	中村 裕貴
彦名小学校	10	212	10	214	0	2	西村 秋仁
崎津小学校	13	260	13	264	0	4	富田 彰
大篠津小学校	7	112	7	110	0	2	内田 正志
和田小学校	8	140	8	128	0	12	藤原 厚子
弓ヶ浜小学校	23	617	22	578	1	39	矢倉 敏文
成実小学校	9	206	7	191	2	15	植田 潔
箕蚊屋小学校	15	358	15	369	0	11	岸信 秀一
伯仙小学校	18	444	18	430	0	14	川上 伸也
淀江小学校	17	470	17	476	0	6	辻田 賢次
米子養護(小学部)	2	4	2	5	0	1	景山 信子
合 計	363	8,758	367	8,724	4	34	

イ 中学校

平成22年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	13	348	13	341	0	7	本池 弘昭
福生中学校	12	316	12	289	0	27	松本 修一
福生中学校いずみ分校	2	5	1	5	1	0	松本 修一
福米中学校	15	466	15	464	0	2	長谷川 昌邦
湊山中学校	14	357	14	367	0	10	河本 隆弘
後藤ヶ丘中学校	21	658	21	650	0	8	栢木 隆志
美保中学校	7	230	8	228	1	2	小坂 靖夫
弓ヶ浜中学校	14	396	14	387	0	9	田中 義雄
尚徳中学校	15	413	15	407	0	6	勝部 慎哉
加茂中学校	16	454	14	419	2	35	大東 治巧
淀江中学校	10	237	10	223	0	14	松本 範史
米子養護(中学部)	5	21	4	12	1	9	景山 信子
合 計	144	3,901	141	3,792	3	109	

ウ 組合立中学校

平成22年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	18	522	17	504	1	18	佐々木 邦広

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 18校

臨時訪問校 34校

イ 教育研究への助成

- (ア) 豊かな人間づくり事業
- (イ) 初等教育研究発表会
- (ウ) 全日本特別支援教育研究連盟全国大会

ウ 知能検査、心理検査の実施

- (ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施
- (イ) 中学校1年に心理検査実施

エ 各種体育大会への助成

- (ア) 小体連主催の合同体育大会を開催(9月)
全市5・6年生参加 (東山陸上競技場)
- (イ) 小体連主催の水泳大会(米子市)に選手派遣
- (ウ) 小体連主催の陸上大会(鳥取市)に選手派遣
- (エ) 中学校対外競技、並びに文化活動における全国・中国大会出場に対する助成

(3) 研修関係

ア 教員の派遣研修

- (ア) 小・中・特別支援学校長、教頭研修会(8月)
- (イ) 小・中・特別支援学校教頭会研修(1月)
- (ウ) 小・中・特別支援学校教務主任研修会(7、12、3月)
- (エ) 中堅教員研修(8月)
- (オ) 特別支援教育実践推進研修会(12月)

(4) 障がい児の就学指導

ア 障がい児の就学指導

米子市就学指導委員会を8月、11月、12月に開催し、知的障がい児、視覚障がい児、自閉症・情緒障がい児、肢体不自由児の適正な判定と就学指導について審議した。

イ 校外職業指導

中学校特別支援学級第3学年を対象に、職業実習協力事業所で2週間にわたり職業実習を実施した。

ウ 小学校特別支援学級体育大会(小学校5月)

エ 特別支援学級合同宿泊訓練(小学校10月)

(5) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

6名の英語指導助手が市内小学校・中学校・特別支援学校の巡回英語指導を実施した。

(6) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の自立支援教室において、市内中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。

(7) にこにこサポート支援事業

小中学校10校に学校支援員を配置し、個別の支援が必要な児童に対して学習上の困難の改善や克服に適切な指導を行った。

(8) 小学校1, 2年生における30人学級の実施

12校16学級で30人学級を実施し、これに伴う人件費の一部として3,200万円を鳥取県に寄付した。(1学級当たり200万円)

(9) 中学校1年生における33人学級の実施

8校8学級で33人学級を実施し、これに伴う加配教員(11人)に要する人件費の一部として2,200万円を鳥取県に寄付した。(加配教員1人当たり200万円)

(10) 要保護・準要保護児童生徒扶助費支給状況

準要保護児童生徒の保護者に対し、新入学用品費、学用品費、修学旅行費の一部、医療費及び給食費の一部を支給し、要保護児童生徒の保護者には、修学旅行費及び医療費を支給した。

区 分	対象延べ人員		支給金額(単位:円)
	要保護	準要保護	
小学校	96	1,506	84,668,433
中学校	48	823	29,837,551
合 計	144	2,329	114,505,984

(11) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	5	5	0	5
中学校	1	1	0	1
特別支援学校	0	0	0	0
合 計	6	6	0	6

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分	対象者数	受検者数	要精検者数	
小学校	第1学年	1,385	1,383	13
	第4学年	1,486	1,484	26
中学校	1,266	1,262	27	
特別支援学校	1	1	0	
合 計	4,138	4,130	66	

ウ 寄生虫卵検査

小学校第1・2・3学年を対象として、セロテープ法(ぎょう虫)による検査を実施した。

区 分	第1・2・3学年		
	対象者数	受検者数	陽性者数
小学校	4,260	4,254	5
特別支援学校	0	0	0
合 計	4,260	4,254	5

エ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	8,724	8,707	138	0	73
中学校	3,780	3,704	236	1	93
特別支援学校	17	15	2	0	0
合 計	12,521	12,426	376	1	166

(12) 教職員定期健康診断

ア 結核健康診断

全教職員を対象として胸部エックス線撮影を実施した。()内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数	精検受検者数
小学校	545	526 (147)	7 (4)
中学校	312	303 (90)	3 (1)
特別支援学校	16	16 (5)	0 (0)
合 計	873	845 (242)	10 (5)

イ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線100ミリ間接撮影(7枚撮り)を実施した。()内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数	有所見者数
小学校	368	342 (134)	21 (15)
中学校	186	173 (73)	19 (16)
特別支援学校	8	8 (5)	1 (1)
合 計	562	523 (212)	41 (32)

ウ 総合検診

全教職員を対象として実施した。()内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数
小学校	545	534 (148)
中学校	312	304 (90)
特別支援学校	16	16 (5)
合 計	873	854 (243)

(13) 学校災害共済加入状況

ア 日本スポーツ振興センター災害共済

区 分	対象者数	加入者数	発生件数	受給件数
小学校	8,718	8,715	535	812
中学校	3,780	3,779	447	696
特別支援学校	17	17	0	0
合 計	12,515	12,511	982	1,508

(14) 通学費助成及びスクールバス運行事業

(小学校統合時(546)に、遠隔地となる児童生徒の通学の負担を軽減する目的で通学費の補助又はスクールバスを運行し、保護者の負担を軽減する事業。合併協定により、実施している。)

ア 通学費助成事業

淀江小学校に通う佐陀地区在住の小学生(1年~3年生)及び淀江中学校に通う本宮地区在住の中学生の保護者に対して通学用バス定期代の一部を補助し、経済的負担の軽減を図った。

区 分	対象児童(生徒)数	支給金額(単位:円)
小学校	103	1,319,370
中学校	2	52,440
合 計	105	1,371,810

イ スクールバス運行事業

淀江小学校に通う本宮地区在住の小学生（１年～６年生）・宝ヶ瀬地区在住の小学生（１年～３年生）を対象にスクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図った。